

「保健医療科学」
第 56 巻 第 2 号 予告

健康格差と保健医療政策

健康格差の研究 (1) : 日本のエビデンスと課題	福田吉治
健康格差と社会政策 : ヨーロッパの動向を踏まえて	松田亮三, 近藤克則
健康格差と医療政策 : 医療格差の過去, 現在, 未来	今井博久
健康格差と保健政策 (1) : 社会心理研究と健康な環境づくり	堤明純
健康格差と保健政策 (2) : マルチレベル分析とポピュレーションストラテジー Subramanian, SV, 藤澤由和, 濱野強	
健康格差と保健政策 (3) : ライフコースアプローチと生涯を通じた健康づくり	林啓一
健康格差の研究 (2) : 社会疫学の発展と諸外国のエビデンス	本庄かおり
Rethinking of "Why are the Japanese living longer?"	Marmot M, 関根道和
格差社会アメリカからみた日本の格差	Kawachi I, 藤澤由和, 高尾総司
Equity and equality: global perspectives	Kim Chang-yup

編 集 後 記

忙しい中ゴルフをしてビールを飲む, サッカーで汗をかく, プールで泳ぐ, 座りっぱなし, そして, 飲み会いずれも十分な水分をとらずに行くと心筋梗塞や脱水症状を起こすかもしれない危険な行為らしい. 世に言う「血液サラサラ」は, 単なる体質だけでなく, 水分摂取の重要性を示している.

今回ご寄稿頂いた武藤先生は, オリンピック選手の指導もされており, 海外に行くとまず安全な水の確保が最重要課題だそうである. 日本ほど安心出来る場所はなかなかないそうだが, その日本でも, プールや体育館の蛇口, スポーツ飲料を溶かしたタンクを介したとみられるクリプトスポリジウムの感染が起こった. また塩素消毒が不十分な小規模水道や湧水での集団感染は後を絶たない. しかも, カンピロバクターやノロウイルスなど以前とは異なる微生物による事故が増えている. これは, 海外との交流の増加により持ち込まれる微生物が増えていること, そして近年の PCR 法の発達により, 微生物の同定が進んでいるためと思われる. 米国では原因のわからない水系感染症のほとんどがウイルスと推定されており, 日本でも検出事例が増えている. 飲用井戸, ホテルや幼稚園のプール, キャンプ場での自炊, 雑居ビルなど, 行政的には間 (はざま) に落ちそうなところで起きている事件も少なくはない. 油断はできない.

一方で, 災害時に最もダメージを受け, 喫緊の課題となるのが水, 水道, 下水道施設 (水とトイレの確保) である. 病院で人工透析に使う水は 1 回 400 リットルともいう. 職場や自宅の自衛のボトル水を確保するのはもちろんのこと, 洗浄水, 冷却水がなくなったらどうなるか, あらためて確認して頂きたい.

(国立保健医療科学院水道工学部 浅見真理)

「保健医療科学」投稿規程

1. 投稿論文

公衆衛生および社会福祉の向上, 普及に資する研究, および活動報告とし, 「保健医療科学」編集委員会が掲載内容を決定する (掲載は無料). ただし, 他誌に発表 (予定も含む) された論文は掲載しない.

2. 種類, 内容及び制限項数

論壇 (Commentaries)

: 公衆衛生および社会福祉の活動, 政策, 動向などについての提案, 提言 [5 頁以内]

総説 (Reviews)

: 研究・調査論文の総括及び解説 [12 頁以内]

原著 (Original Articles)

: 独創的な研究にもとづく新知見を含む論文 [10 頁以内]

ノート (Notes)

: 原著に比べて簡単に若干の新知見を含むもの [5 頁以内]

資料 (Research Data)

: 調査または統計などをまとめたもの [8 頁以内]

現場報告 (News from the Field)

: 国内外の公衆衛生および社会福祉に関する実践, 教育, 研究などの報告 [5 頁以内]

レター (Letters)

: 掲載論文に対する意見など [1 頁以内]

書評 (Book Reviews)

: 公衆衛生および社会福祉に関する図書などの紹介 [1 頁以内]

*なお, 刷り上り 1 項は 2,600 字相当

3. 発行頻度

年 4 回発行し, 4 号分をもって 1 巻とする. また必要に応じて補冊 (Supplement) を発行する.

4. 投稿方法

「投稿申込書」(様式 1) を添えて, 原本ならびに明瞭なコピーを 2 部提出する. なお, 原図, 写真などは汚損を避けるため別にコピー 2 部を提出する.

なお, 執筆要領については別に定める.

5. 原稿採否

投稿論文の採否は, 複数の専門家による査読の結果に基づき, 編集委員会にて決定する.

6. 別刷り

50 部までは無料. 51 部以上は著者負担とする. また掲載誌 1 部を贈呈する.

7. 校正

著者校正は初校までとし, 脱落, 誤植などの校正とする. 原文および図表等の大幅な訂正などは認めない.

8. 出版権

本誌の出版権は本院に属する. なお, 他誌などにその全部または一部を使用する場合は本編集委員会の同意を必要とする.

9. 投稿先

「保健医療科学」編集委員会

〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6

TEL. 048-458-6209 FAX. 048-469-0326

(平成 17 年 2 月 3 日)